



## **記者会見** 第52回ギャラクシー賞

### ギャラクシー賞贈賞式のご案内

### 各部門入賞作品の解説

### マイベストTV賞グランプリの発表

■日時 5月25日（月曜日）4：00～5：00PM（16:00-17:00）

■会場 ラジオ・テレビ記者会（NHK内）

#### ■出席者（予定）

放送批評懇談会 選奨事業委員長 藤久ミネ（ふじひさ・みね）

放送批評懇談会 テレビ部門委員長 丹羽美之（にわ・よしゆき）

放送批評懇談会 ラジオ部門委員長 橋本隆（はしもと・たかし）

放送批評懇談会 CM部門委員長 稗田政憲（ひえだ・まさのり）

放送批評懇談会 報道活動部門委員長 鈴木嘉一（すずき・よしかず）

放送批評懇談会 マイベストTV賞プロジェクトリーダー 滝野俊一（たきの・としかず）

#### ■会見内容

1. 第52回ギャラクシー賞贈賞式のご案内
2. テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の入賞作品解説
3. 志賀信夫賞（第6回）の紹介と解説
4. マイベストTV賞グランプリ（第9回）発表
5. 質疑応答

#### ■この件に関するお問合せ先

特定非営利活動法人／NPO放送批評懇談会

中島好登（なかじま・こと）

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

Email [kondankai@houkon.jp](mailto:kondankai@houkon.jp) HP <http://www.houkon.jp>

# 第52回ギャラクシー賞入賞作品一覧

[ 2014年4月1日 ~ 2015年3月31日 ]

## ◎志賀信夫賞

**松尾羊一**

## ◎マイベストTV賞 第9回グランプリ

金曜ナイトドラマ「死神くん」  
テレビ朝日

## ◎ラジオ部門

- ＊ダウン症は不幸ですか?新型出生前診断スタートから1年 ダウン症への思い 朝日放送
- ＊山ちゃん美香の朝ドキッ! 銀太君が行く 札幌観光札幌馬車実況生中継 北海道放送
- ＊ピート・シーガー追悼特別番組「野に咲く花は、少女の胸に」 エフエム東京
- ＊風の男 BUZAEMON 南海放送
- ＊YBCラジオスペシャル「花は咲けども〜ある農村フォークグループの40年〜」 山形放送
- ＊ネットワーク1・17「20年〜大震災と向き合う日々」 毎日放送
- ＊J-WAVE SELECTION A CUP OF MEMORIES 大坊珈琲店物語 J-WAVE
- ＊MUSIC SHOWER Plus+ いちゃりば結スペシャル 琉球放送

## ◎テレビ部門

- ＊NCT開局25周年記念番組「震災10年以降の長岡のまちづくり〜人口減少・高齢化時代を乗り切る〜」 エヌ・シー・ティ
- ＊BS1スペシャル「天才 ポビー・フィッシャーの闘い〜チェス盤上の米ソ冷戦〜」 日本放送協会
- ＊ひきこもりのシェアハウス テレビ金沢
- ＊BORDER テレビ朝日
- ＊BS1スペシャル「遠い祖国 ブラジル日系人抗争の真実」 日本放送協会 テムジン NHKエンタープライズ
- ＊6人の村人! 全員集合 TBSテレビ
- ＊NHKスペシャル「老人漂流社会 “老後破産”の現実」 日本放送協会
- ＊NHKスペシャル「ドキュメント“武器輸出”防衛装備移転の現場から」 日本放送協会
- ＊ノンフィクションW「記録映画『東京オリンピック』誕生の軌跡〜市川崑と164人のカメラマン〜」 WOWOW 東阪企画
- ＊QABドキュメンタリー 扉2014「裂かれる海〜辺野古 動き出した基地建設〜」 琉球朝日放送
- ＊サンデーモーニング新春スペシャル「群衆と戦後70年」 TBSテレビ
- ＊戦後70年 千の証言スペシャル「私の街も戦場だった」 TBSテレビ
- ＊デート〜恋とはどんなものかしら〜 フジテレビジョン 共同テレビジョン
- ＊ヤクザと憲法〜暴力団対策法から20年〜 東海テレビ放送

## 特別賞

**ドラマ24**

テレビ東京

## 個人賞

**杏**

「花咲舞が黙ってない」(日本テレビ)ドラマスペシャル「クロハ〜機捜の女性捜査官〜」(テレビ朝日)「デート〜恋とはどんなものかしら〜」(フジテレビ)の演技

## ◎報道活動部門

- ＊報道活動の新しいみらいへ エリアの生命と財産を守る「臨時サービス」を活用した災害報道 札幌テレビ放送
- ＊「高知白バイ衝突死」を巡る検証報道 瀬戸内海放送
- ＊シリーズ「ヒロシマ70年」の報道及び動画コンテンツの公開 中国放送
- ＊NHK東日本大震災プロジェクト シリーズ「明日へー支えあおうー復興サポート」 日本放送協会
- ＊HTB詐欺撲滅キャンペーン 今そこにある詐欺 北海道テレビ放送
- ＊ハンセン病に対する差別解消にむけた報道 三重テレビ放送

## DJパーソナリティ賞

**横山雄二**

「平成ラヂオバラエティ ごぜん様さま」「ザ★横山雄二ショー」(中国放送) パーソナリティとして

## ◎CM部門

- ＊インテリジェンス DODA シリーズ「チャップリン×綾野剛篇」「キング牧師×綾野剛篇」 インテリジェンス 電通 GLIDER ギークビクチュアズ
- ＊NTTドコモ スマートライフ「親子のキャッチボール篇」 NTTドコモ 電通 スプーン
- ＊住友生命保険 企業「dear my family2015」 住友生命保険 TUGBOAT 博報堂 東北新社
- ＊東海テレビ放送 公共キャンペーン・スポット「震災から3年〜伝えつづける〜」 東海テレビ放送
- ＊東京ガス 企業「家族の絆 母とは」 東京ガス 電通 電通クリエイティブX
- ＊TOTO NEOREST ネオレスト「菌の親子篇」 TOTO ワトソン・クリック 電通 ソーダコミュニケーションズ
- ＊トヨタマーケティングジャパン TOYOTA NEXT ONE//企業シリーズ「THE WORLD IS ONE.」 トヨタマーケティングジャパン 電通 スプーン
- ＊日清食品ホールディングス カップヌードル シリーズ「現代のサムライ篇」「壁ドン篇」 日清食品ホールディングス catch Six 博報堂 ティー・ワイ・オー
- ＊パナソニック エボルタ「エボルタ魔線1日復活チャレンジ」 パナソニック 博報堂 ハット
- ＊フルスロットルズ ドレスマックス「奥さまは花嫁」 フルスロットルズ アクトタンク リヴァンプ catch 博報堂 AOI Pro.
- ＊三井不動産リアルティ 三井のリハウス「みんなの声鉛筆」シリーズ「もう一度都心へ」「同居?or近居?」「友達と住まい」 三井不動産リアルティ 博報堂 スプーン
- ＊ユニフルーティー ジャパン チキータバナナ[BANANART ANIMATION] ユニフルーティー ジャパン 電通 ヴァンクラフト 右脳事件
- ＊琉球放送 歩くーぼん シリーズ「フォアボール篇」「外野フライ篇」「1塁にて篇」 琉球放送 博報堂 博報堂DYメディアパートナーズ RBCビジョン

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、6月2日(火)開催「第52回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社(者)名五十音順に記載。



## 各 位

NPO放送批評懇談会（担当：中島／福島）

Tel. 03-5379-5521 Fax. 03-5379-5510

### <詳報>第52回ギャラクシー賞贈賞式取材ご案内

平素より当会にはご理解ご支援を賜り、ありがたく御礼申し上げます。

テレビ、ラジオの番組、関係者に贈る賞として52年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。第52回の贈賞式を、6月2日に開催いたします。

テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門各4部門の大賞、優秀賞、選奨が、贈賞式で発表されます。志賀信夫賞、テレビ部門個人賞・特別賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞、マイベストTV賞の表彰も行われます。

6月2日の贈賞式をご取材いただき、各部門の受賞作品を報道いただくようお願い申し上げます。

#### ■個人賞 **杏**

「花咲舞が黙ってない」（日本テレビ）ドラマスペシャル「クロハ〜機捜の女性捜査官〜」（テレビ朝日）  
「デート〜恋とはどんなものかしら〜」（フジテレビ）の演技

#### ■DJパーソナリティ賞 **横山雄二** 中国放送アナウンサー

#### ■志賀信夫賞 **松尾羊一** 放送評論家

■ほか、受賞番組ゲストの出席を調整中

#### <贈賞式日程>

日時 2015年6月2日（火曜日）贈賞式 16:30～18:30

会場 ウェスティンホテル東京 ギャラクシールーム

東京都目黒区三田1-4-1（恵比寿ガーデンプレイス内） Tel. 03-5423-7000



## 第52回ギャラクシー賞 贈賞式 取材要領

2015年6月2日（火曜日）

ウェスティンホテル東京「ギャラクシールーム」

取材受付15：15、取材開場15：30、開演16：30

### 取材要領

■ギャラクシー賞贈賞式の取材をご希望の方は、申込書に必要事項をお書き込みのうえ、ファクスでお申し込みください。事前にお申込のない取材はお受けできません。

■スペースの都合により1紙／誌につき1人（カメラ別）、1番組につき1クルーをお願いします。

■撮影希望者（スチール、ムービーとも）は、15：15までに取材受付にご集合ください。（カメラ位置は抽選で決定。ただし申込多数の場合は、抽選によって会場にお入りいただけない場合があります。ご了承ください。）

## 第52回ギャラクシー賞取材申込書 Fax. 03-5379-5510

ギャラクシー賞贈賞式の取材を申し込みます。

会社名	
媒体名／番組名	
住所 〒	
担当者	Tel.
Email	Fax.
取材人数	スチールカメラ    あり    なし
	テレビカメラ    あり    なし
その他	



# ギャラクシー賞の概要

## ◆歴史および概要◆

1963 年創設。

民放草創期の 1963 年、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に、会の発足と同時に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第 1 号である。表彰は 1 年単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫、そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は 2013 年、第 50 回を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が賞の新しいシンボルとなった。

## ◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会（毎月）が開催され、月間賞が選出されている。ラジオ部門、CM 部門も月例会を持ち番組を論じ合う。これらの内容は月刊誌「GALAC／ぎやらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

## ◆賞の内容◆

テレビ部門、ラジオ部門、CM 部門、報道活動部門の 4 部門制。テレビ部門は月間賞のほか、年 2 回参加作品募集を行い、両者をあわせた中から年間賞を選出。ラジオ、CM、報道活動は年 2 回参加作品を募集し、それに審査員の推薦作品を加えて選考し、年間賞を選出。

受賞枠は、＜テレビ部門＞大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1、＜ラジオ部門＞大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞または DJ パーソナリティ賞 1、＜CM 部門＞大賞 1、優秀賞 3、選奨 9、＜報道活動部門＞大賞 1、優秀賞 2、選奨 3。ほか、周年には記念賞を設ける場合がある。

放送批評懇談会が NPO となったことを記念して、第 44 回（2006 年度）から視聴者が選考に参加するマイベスト TV 賞を新設した。



◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの 2 点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年 2 回(上期・下期)、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年 6 月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。

「志賀信夫賞」について

■会の設立から発展に貢献のあった日本の放送批評のパイオニア、志賀信夫（2012 年他界）の長年にわたる放送界への功績を記念して、2009 年度に設立した。

■本賞は、これまでのギャラクシー賞が受賞対象とする番組制作という枠にとどまらず、広く放送の発展に貢献する大きな業績を成し遂げた個人を表彰するものである。

したがって番組制作だけでなく、放送局やプロダクションの経営、番組制作の支援や放送周辺分野、放送を中心とするメディアに関わる研究や批評活動など、幅広い分野で功績のあった方々を顕彰し、放送の更なる発展に役立てる意図を持つ。

志賀信夫 しが・のぶお／1929（昭和 4）～2012（平成 24）。放送評論家。福島県生まれ。53 年早稲田大学大学院文学研究科修了。57 年同大学講師。60 年放送評論家として独立。63 年放送批評懇談会の設立に参加、理事、78 年同理事長。79 年共立女子大学講師。81 年メディアワークショップ代表理事。85 年ビデオ映像文化振興財団理事。90 年多摩大学講師。NAB（全米放送事業者協会）東京セッション実行委員会会長、文化庁芸術祭審査委員、NHK 演出審議委員等を務める。「デジタル時代のパイオニア」（源流社）、「BS/CS 衛星放送新時代」（電波新聞社）、「映像の先駆者 125 人の肖像」（NHK 出版）など著書多数。自薦の優れた番組の評論を記録し、関係者の証言を集めるなどした「年間テレビベスト作品」を 30 年にわたり出版。2003 年には、テレビ評論の分野で初めて芸術選奨を受賞。



# 第 52 回ギャラクシー賞 テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門 2014 年度の傾向と選考経過

## ■テレビ部門■

委員長 丹羽美之

副委員長 古川柳子

委員 出田幸彦 岩根彰子 太田省一 岡田芳枝 岡室美奈子 河野尚行 滝野俊一  
藤久ミネ 水島宏明 宮崎美紀子

2014 年度のギャラクシー賞テレビ部門には、上期 125 本、下期 161 本、計 286 本の応募が寄せられました（その内訳は、地上波が 198 本、BS・CS が 38 本、ケーブルテレビが 10 本、制作会社が 39 本、スマホ向け地上波が 1 本）。今回も全国の放送局や制作会社から、数多くの優れた番組が集まりました。これらの応募番組と月間賞受賞番組（46 本）について討議を重ねた結果、最終的に 14 番組の入賞が決定しました（『入賞作品一覧』参照）。

報道・ドキュメンタリーでは、戦後 70 年の節目にあたり、戦争や戦後の歩みについて考える企画が目立ちました（BS1 スペシャル「天才 ボビー・フィッシャーの闘い～チェス盤上の米ソ冷戦～」、BS1 スペシャル「遠い祖国 ブラジル日系人抗争の真実」、NHK スペシャル「ドキュメント“武器輸出”」、QAB ドキュメンタリー「裂かれる海」、サンデーモーニング新春スペシャル「群衆と戦後 70 年」、戦後 70 年 千の証言スペシャル「私の街も戦場だった」）。

またローカル局を中心に、人口減少、超高齢化、ひきこもり、暴対法など、現在進行形の課題に向きあう力作も数多くありました（「震災 10 年以降の長岡のまちづくり」、「ひきこもりのシェアハウス」、NHK スペシャル「老人漂流社会“老後破産”の現実」、「ヤクザと憲法」）。

ドラマでは、大胆なアプローチで刑事ドラマや恋愛ドラマなど定番ジャンルの新たな魅力を引き出すことに成功した連続ドラマ 2 本が評価を集めました（「BORDER」、「デート」）。

エンターテインメントでは、大物芸人の異色コラボが話題となったバラエティ、名作映画の誕生秘話に迫る知的エンターテインメントが入賞しました。（「6 人の村人！全員集合」、ノンフィクション W 「記録映画『東京オリンピック』誕生の軌跡」）。

（丹羽美之）



## テレビ部門特別賞

# テレビ東京 ドラマ24

2005年10月に創設され、以後10年にわたり異彩を放っているドラマ枠です。深夜の時間帯ということもあり、既存のドラマではできないようなお色気路線から本格的なSFまで“何でもあり”の制作スタイルは、気鋭のクリエイターの魂に火を付け、あっと驚くような斬新で魅力的な作品を生み出しています。首をかしげたくなるドラマもありますが、裏を返せば一歩先を行く挑戦的な試みであり、自由度の高さから生まれた異色作ともいえます。「モテキ」「まほろ駅前番外地」「みんな！エスパーだよ！」「アオイホノオ」はギャラクシー賞選奨・奨励賞を受賞するなど、プロの批評家からも高い評価を受けました。これからもそのチャレンジ精神を失わず、日本のドラマに新風を吹き込んでくれることを期待しています。

## テレビ部門個人賞

# 杏

「花咲舞が黙ってない」（日本テレビ）ドラマスペシャル「クロハ〜機捜の女性捜査官〜」（テレビ朝日）  
「デート〜恋とはどんなものかしら〜」（フジテレビ）の演技

「花咲舞が黙ってない」では、銀行の本部から支店に赴いて、融資の妥当性を審査する臨店班に抜擢され、さまざまなトラブルを解決する正義感の強い女性行員役を好演。上の人間にも臆さず正面から立ち向かう痛快なヒロイン像とキレのいい啖呵が、ドラマに爽快感を与えていました。スペシャルドラマ「クロハ〜機捜の女性捜査官〜」では、射撃の名手でクールな女刑事を全身黒づくめで演じ、華麗なガンアクションも披露。これまで演じることが多かった快活なヒロインとは違う新境地を開拓しました。さらに「デート〜恋とはどんなものかしら〜」の藪下依子役ではコメディエンヌとしての魅力を存分に発揮。なにごとにも合理的で恋愛力ゼロの理系女子というデフォルメされた役柄の“型”を演じつつ、ささいな動きや表情の変化などで、その裏に生き生きとした実在感や可愛らしさをにじませる演技は見事。今後、さらに多彩な役を演じてくれるに違いないという期待が高まります。

### <プロフィール>

杏（あん） 女優・モデル 杏 1986年4月14日、東京都生まれ。10代からモデルとして活動し、海外のコレクションなどにも多数出演。07年、ドラマスペシャル「天国と地獄」（テレ朝）で女優デビュー。その後、2009年「サムライ・ハイスクール」（日テレ）、「天地人」（NHK）、10年「ジョーカー 許されざる捜査官」（フジ）、11年「名前をなくした女神」（フジ）、「妖怪人間ベム」（日テレ）、12年「平清盛」（NHK）、13年「ホリック〜xxxHOLiC〜」（WOWOW）など連続ドラマに多数出演。映画出演作は13年「プラチナデータ」（監督：大友啓史）、「真夏の方程式」（監督：西谷弘）他。13年には連続テレビ小説「ごちそうさん」（NHK）に主演、ヒロインめ以子を演じた。2012年エランドール新人賞受賞。2015年第23回橋田賞新人賞受賞。





## ■ラジオ部門■

委員長 橋本 隆

副委員長 茅原良平

委員 池本孝慈 鵜飼一嘉 五井千鶴子 末田倫子 永須智之 中村亮平 松浦正和  
松本しのぶ 三原 治 山本 素

上期 37 本 下期 35 本、計 72 本。昨年より 9 本増、特に下期が増えた。ここ 4 期ほど 60 本前半だったエントリーが、久しぶりの 70 本越え。今期は特に、あるテーマが多かったということはなかったが、それぞれの番組がラジオの力強さ、底力を出していて優れた作品ばかりであった。コミュニティ FM 局からの応募も 8 番組と過去最大であった。残念ながら入賞に至らなかったが、個人的にはそれに値すると評価した番組もあった。尚、ドラマ部門からの入賞が 1 本となったが、決して優れた作品が少なかったわけではない。全ての作品も横断的に見て今期はドキュメントに甲乙つけがたい作品が残り、3 作品の入賞とした。

### <生ワイド部門>

「山ちゃん美香の朝ドキッ!〜」(北海道放送)は、生中継番組が珍しくなった最近、朝から札幌市内の観光馬車に乗っての中継。企画も良いし、田村美香さんの中継が上手い。

「いちゃりば結スペシャル〜」(琉球放送)は、“いちゃりば=出会えば、結=つながる”の意味であるが、音楽で迎えようという新しい沖縄の唄の特集。明るく楽しい番組。

### <音楽&エンタテインメント部門>

「ピート・シーガー追悼特別番組『野に咲く花は〜』」(エフエム東京)は、亡くなったピート・シーガーを追悼してその足跡を追いながら、今の日本に反戦の思いをつなげた作品。

「大坊珈琲店物語」(J-WAVE)は、惜しまれて店を閉めた南青山の大坊珈琲店の店主へのインタビューとジャズで構成した番組。ラジオならではの音の世界が現出している。

### <ドラマ部門>

「風の男 BUZAEMON〜」(南海放送)は、200 年以上前の一揆の中心人物・武左衛門を主人公に見事にミュージカルドラマに仕立て上げた。地元との密着度、演出の冴え、音楽の使い方の妙、従来のラジオドラマの枠を超えた秀作。

### <報道・ドキュメンタリー部門>

「ダウン症は不幸ですか?〜」(朝日放送)は、発足して 1 年の出生前診断がダウン症診断になりつつある今、産むということの判断について考えさせられる貴重な番組。

「花は咲けども〜」(山形放送)は、東日本大震災から 3 年、震災復興支援ソング「花は咲く」へのアンサーソング「花は咲けども」で東北と東京の理不尽な関係を強く訴えた。

「ネットワーク 1・17〜」(毎日放送)は、阪神淡路大震災から 20 年、震災直後から被災者と共に考え共に歩んできた番組、今なお復興には程遠い現状を厳しく追及した。

(橋本 隆)



ラジオ部門DJパーソナリティ賞

## 横山雄二

「平成ラヂオバラエティ ごぜん様さま」「ザ★横山雄二ショー」（中国放送）パーソナリティとして

言葉巧みに擬音、下ネタ、宮崎弁を織り交ぜて展開する予測不能のマシニングトークは天下一品です。一方で、カープを叱咤激励し、リスナーにも本音で物言いをする熱い一面に、パーソナリティとしての求心力を感じます。

昨年広島で土砂災害が発生した際は、その力を発揮して、番組を共に務める泉水はる佳とチャリティーソング「広島空」を歌い、売上の全てを市に寄付し、自らが主催する東日本大震災復興支援チャリティーイベント「ヨコヤマナイト」では、丸4年で1千万円をこえる義援金を集めました。また、映画「ラジオの恋」では主演を務め、スクリーンからラジオの魅力を伝えました。

これらの活動は、全てラジオを通じて成されています。多岐にわたる活動の中で、軸足をラジオに置き、リスナーとの輪を育み、感動を共有し、ラジオの可能性を追い求める姿勢を称えるとともに、ラジオの未来を明るく照らすラジオスターとしてさらなる活躍を期待します。

### <プロフィール>

横山雄二（よこやま・ゆうじ） 中国放送（RCC）アナウンサー。1967年生まれ。宮崎県宮崎市出身。1989年中国放送入社。93年ラジオ「ジューケンキャンパススタジオ」を担当。97年自ら企画立案したテレビ深夜番組「KEN-JIN」をスタート。2001年、番組で共演した猿岩石と結成した「KEN-JIN BAND」でCDデビューした。「ザ★横山雄二ショー」などでDJパーソナリティを務める。2012年RCC文化センター創業40周年記念として製作された映画「ラジオの恋」に主演。2014年1月RCCテレビドラマ「浮気なストリッパー」の監督・脚本をつとめるなど多才な活躍を見せる。最新著書は『生涯不良』（ザメディアジョン）。



## ■ CM 部門 ■

委員長 稗田政憲

副委員長 碓井広義

委員 秋吉淳一郎 小川幸子 草川 衛 汲田亜紀子 千葉健吉 服部千恵子 桧山珠美  
山家誠一 横川紀子 吉江一男 若尾一彦

2014 年度のギャラクシー賞 CM 部門には、上期 138 本、下期 130 本、計 268 本（シリーズも 1 本としてカウント）の応募が寄せられ、前年より 24 本増となった。制作予算をふんだんに生かした超大作は減ったものの、広告の本質である伝えるべきメッセージをしっかりと示した巧打の作品が多かった。アイデアと表現の多様性に加え、見せる工夫、記憶に残すための地道な努力も伺えた。

優れた作品が多く、選考は激戦で投票と討議を何度も重ねた結果、以下の 13 作品を入賞とした。

インテリジェンス：著名な人物の肉声演説を用い、普遍的な共感を呼ぶことに成功

NTT ドコモ：父と娘の気持ちをキャッチボールの球に擬人化した清々しい作品

住友生命：前作より更に完成度を高め、生命保険の CM として新しい形を作り上げた

東海テレビ：「伝え続ける」使命感を誠実に描いた点が企業広告として高く評価

東京ガス：母と息子の日常の愉快的なエピソードを積み重ねて、料理は家族を繋ぐ絆をしっかりと伝えた

TOTO：白と黒の対比をうまく使い、商品の機能説明と楽しさ可愛らしさの共存が優れた作品

トヨタ：映像を 2 つの見せ方で表現、メッセージが際立ち、企業のブランド価値を高めた

日清食品：日本の魅力を面白く表現。三味線を使った音楽も自然で、完成度も高い作品

パナソニック：廃線 1 日復活は地域を元気にし、長いシリーズからのブレイクスルーとして成功

ドレスマックス：ウエディングドレス買取りを、説明抜きで理解・記憶させる秀逸な作品

三井不動産リアルティ：計算されたイラストと文字処理、メッセージの歯切れ良さが光った

チキータバナナ：小学生 100 人が 1500 本のバナナに点描しアニメに挑戦した楽しい作品

琉球放送：歩かない現実を面白く表現。視聴者にドキッと突き刺さる作品

(稗田政憲)



## ■報道活動部門■

委員長 鈴木嘉一

副委員長 山田健太

委員 稲塚秀孝 岩崎信道 小原道雄 河邑厚徳 田中早苗 谷岡理香 旗本浩二 福島俊彦  
矢後政典 横山隆晴

2014 年度の応募総数は上期 13 本、下期 18 本の計 31 本で、前年度より 7 本も多い。30 本を超えたのは 10 年ぶりである。NHK と民放のキー局・系列局をはじめ、独立局、BS、ケーブルテレビ、ラジオからも寄せられた。上期 4 本、下期 6 本に絞られた入賞候補作から 6 本の入賞作を選んだ。

今回の特徴は、制作者の執念から生まれた長期間の報道活動で優れた成果が目立ったことである。東日本大震災と福島原発事故、今年で 20 年を迎えた阪神・淡路大震災の関連では、「防災・減災」をめざすキャンペーンや緊急災害報道も含め、前年度の 11 本を上回る 12 本の応募があった。この中では、新技術を活用する取り組みや新たな手法による復興サポートのプロジェクトが評価された。

札幌テレビ放送「報道活動の新しいみらいへ～エリアの生命と財産を守る『臨時サービス』を活用した災害報道」。石狩地方に大雨特別警報が発令された昨年 9 月、早朝からローカル枠で緊急報道特番に切り替え、ネット番組の時間帯では日本初の「臨時サービス」を使ってローカルの緊急特番を流し続けた。上層部の素早い決断と、スムーズに取り組んだ報道現場の総合力が光る。

北海道テレビ放送「HTB 詐欺撲滅キャンペーン 今そこにある詐欺」。高齢者らに注意を促す啓発活動にとどまらず、新手の手口を明らかにし、詐欺グループを追跡するなどのスクープも放った。局を挙げて取り組み、ニュース枠での放送回数は 2 年間で 500 回に迫る。

NHK「東日本大震災プロジェクト シリーズ『明日へー支えあおうー復興サポート』」。各分野の専門家を被災地に招き、行政や住民、支援者らと話し合う場を設けて、復興への道筋を探る月 1 回のシリーズである。東京と地域放送局の連携が具体的な成果を上げている。

三重テレビ放送「ハンセン病に対する差別解消にむけた報道」。国家賠償請求訴訟で熊本地裁判決が出た 2001 年から、三重県出身者が各地の療養所に隔離された経緯や、伊勢神宮を抱える「聖地三重」とのかかわりなどを掘り下げ、5 本のドキュメンタリーを作った。出版化も評価を高めた。

瀬戸内海放送「『高知白バイ衝突死』を巡る検証報道」。2006 年、高知県でスクールバスと白バイが衝突し、白バイ隊員が死亡した事故では、元バス運転手の有罪が確定した。しかし、一連の調査報道で警察による証拠捏造の疑惑が浮上している。冤罪の確信を深める記者の執念と綿密な取材には圧倒される。

中国放送「シリーズ『ヒロシマ 70 年』の報道及び動画コンテンツの公開」。昨年 1 月からニュース枠で放送され、20 回を超える。広島カープの誕生秘話のように、被爆者だけではなく戦後復興の担い手たちの知られざるエピソードを掘り起こし、被爆と復興の記憶を語り継いでいる。

(鈴木嘉一)



# 放送批評懇談会 第 6 回志賀信夫賞

## 松尾羊一

志賀信夫賞選考委員会

委員長 音 好宏

選考委員 橋本 隆 藤田真文 川喜田尚 飯田みか 丹羽美之

「志賀信夫賞」は、志賀信夫前理事長の長年にわたる放送批評活動の功績を記念して創設されました。番組制作に留まらず、放送局やプロダクションの経営、業界の新たな仕組み作りなどに、幅広い業績を対象に、広く放送文化、放送事業の発展に顕著な貢献をした個人を顕彰することが目的です。

当会選考委員会が、慎重かつ多角的な討議を重ねた結果、第 6 回志賀信夫賞の受賞者に、放送評論家の松尾羊一氏を選出いたしました。志賀信夫賞第 6 回目で、初の批評家の授賞となりました。

### <選評>

松尾羊一さんは江戸っ子、京橋区入船町のお生まれ——ご本人の述懐によれば「下町の路地裏にやってくる紙芝居をこよなく愛した少年だった」とのことですが、その面目はいまも躍如です。長じて文化放送に入社。デンスケ（携帯型録音機）かついで社会教養番組を担当。「ズリ山に育つ子ら」「ある搜索願い」（民間放送連盟優秀賞）、「この十年の記録・60 年～70 年の日本」（同最優秀賞）、「ニューヨーク・ホットライン」（制作テレビマンユニオン／ギャラクシー賞選奨）などの輝かしい受賞歴もお持ちなのですが、才気余って、頭を掻き照れながら、こよなく愛するテレビ・ラジオの海に漕ぎ出し、よく書き、よく誉め、慈しみ育てる放送評論一筋に歩んでこられました。

『てれび徒然草』（日本放送出版協会）、『ラジオグラフィティ』（住宅出版新社）、『テレビ遊歩道』（メトロポリタン出版）などの著書もたくさんありますが、傘寿を越えてなおご健筆。毎日新聞夕刊（木曜）連載の「長屋のご隠居 てれび指南帳」で、八つつあん、熊さん、おそめ相手にご隠居が繰り広げる軽妙独自のテレビ文化論を愛読しておられる方も多いことでしょう。

江戸文学に造詣深く、山東京伝もかくやと思われる諧謔、洒落はさらに冴えて、松尾羊一さんの「羊の歌」はこれからもテレビと共に、テレビとは何かを私たちに語り続けられることでしょう。

### <松尾羊一プロフィール>

まつお・よういち 放送評論家。本名・吉村育夫。1930 年東京都（旧京橋区入船町）生まれ。53 年、早稲田大学第一文学部仏文科卒。文化放送入社。おもに社会教養番組のディレクターとして、「ズリ山に育つ子ら」「ある搜索願い」（民放連優秀賞）「この十年の記憶」（同最優秀賞）などを制作。「25 時の討論会」および「ニューヨーク・ホットライン」でギャラクシー賞選奨を受賞。著書に「てれび徒然草」（日本放送出版協会）、「ラジオ・グラフィティ」（住宅出版新社）、「テレビは何をしてきたか～ブラウン管のなかの戦後風俗史」（中央経済社）など。毎日新聞にて「長屋のご隠居・てれび指南帳」を長期連載中。



視聴者参加型のギャラクシー賞

# ギャラクシー賞マイベスト<sup>テレビ</sup>TV賞 グランプリ決定！

マイベストTV賞第9回グランプリ

## 金曜ナイトドラマ「死神くん」(テレビ朝日)

視聴者の評価、満足や感動の気持ちを、投票によって形にしたマイベストTV賞。「金曜ナイトドラマ『死神くん』」には、「生きることの意味を考えさせられた」「見終えた後に温かい気持ちにさせてくれた」「監督ごとに印象の変わるドラマで不思議な世界観があった」といった視聴者の賞賛の声が数多く寄せられました。ルール違反も辞さない人間味を持ち、生きることの尊さを訴える新米の死神の活躍を、コミカルに、そして感動的に描いた異色のヒューマンドラマで、主演の大野智をはじめとする俳優陣の快演も光り、陰影のある映像とともにファンタジックな世界を構築しています。

### 解説

マイベストTV賞に参加したWeb会員は、2015年4月12日現在で10,883名。これに放送批評懇談会の正会員196名が加わった計11,079名がグランプリ作品の投票にあたった。

グランプリは、2014年4月度から2015年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作36本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められた。

634票を獲得しグランプリに選ばれたのは、テレビ朝日の「金曜ナイトドラマ『死神くん』」。“命の大切さを伝えるドラマ” “コメディかと思いきや素晴らしい人間ドラマだった” “大野智の表情で心情を語る演技に心打たれた” というコメントが寄せられるなど、投票者の幅広い支持を得る結果となった。

第2位は日本テレビの「嵐にしやがれ元日スペシャル」。“出演者それぞれの個性と素顔を垣間見ることができとても楽しい番組” “毎年期待を裏切らない嵐に感謝” など、嵐ファンの強い支持を集めた。

第3位はフジテレビの「HERO」。“変わらない久利生公平にワクワクした” “正義とは何か、一貫してHEROはテーマがブレていない” など、前作のファンからも強い支持を得た。

なお、次年度も同様の方式によって年間のグランプリを決定するが、深夜番組やニュース番組、音楽番組を特別投票でノミネート作に盛り込むなど、新しい試みを実施する予定である。



### 最終投票結果

第 1 位	金曜ナイトドラマ「死神くん」(テレビ朝日)	634 票
第 2 位	嵐にしやがれ元日スペシャル(日本テレビ)	256 票
第 3 位	HERO(フジテレビ)	254 票
第 4 位	武器はテレビ。SMAP×FNS 27 時間テレビ(フジテレビ)	243 票
第 5 位	第 65 回 NHK 紅白歌合戦(NHK)	233 票
第 6 位	テレビ小説「花子とアン」(NHK)	166 票
第 7 位	金曜ドラマ「N のために」(TBS)	165 票
第 8 位	連続テレビ小説「マッサン」(NHK)	163 票
第 9 位	デート～恋とはどんなものかしら～(フジテレビ)	162 票
第 10 位	日曜劇場「ごめんね青春！」(TBS)	159 票

### 参考

#### ★どんな賞？

「ギャラクシー賞マイベストTV賞」は、放送批評懇談会がNPO(特定非営利活動法人)になったことを節目として創設されることになりました。NPOとして、放送と市民との橋渡しとなるような活動を強化したいと考えたからです。放送局が送り出すたくさんの番組たち。果たして視聴者はどんな番組を評価し、どんな番組を愛好しているのでしょうか。放送局や放送の作り手には、視聴者の声は届きにくいのが現実です。とくに、「よかった」「素晴らしかった」といった推奨の声はなかなか形になって表れません。

視聴者の評価の声を形にしたい、視聴者の気持ちを放送局や制作者に届けたい——そんな思いから生まれたのが、「ギャラクシー賞マイベストTV賞」です。

視聴者がだれでも自由に参加できる本格的な番組賞が、日本に初めて誕生しました。

#### ★賞の本数、対象年度

ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ 1本

年度(4月～翌年3月) ごとの日本国内で放送されたテレビ番組が対象

#### ★賞の仕組み

審査員は放送批評懇談会正会員、Web会員。選出は放送批評懇談会ホームページの投票でおこなう。

毎月の候補番組は放送批評懇談会選奨事業委員会テレビ部門が制定。

会員は毎月1回、IDとパスワードで投票ページに入室し、候補番組の中から3本まで選んで投票。

得票の多かった3本が月間ノミネート番組に選出される。(投票の経過・結果はWebで発表)

会員は毎年4月、12か月のあいだに選出された月間ノミネート番組から、年間のベスト番組5本を選んで投票。この年間のベスト番組投票で、もっとも多くの支持を獲得した番組1本が、<ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ>に選出される。



# NPO/特定非営利活動法人 放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

■創立 NPO 放送批評懇談会＝2005 年 5 月 2 日（任意団体放送批評懇談会＝1963 年 4 月）

■会勢 正会員 196 名 維持会員 139 社

## ■役員

理事長＝音 好宏 副理事長＝橋本 隆（選奨事業委員会ラジオ部門委員長） 専務理事＝藤田真文 常務理事＝川喜田尚（企画事業委員長）、飯田みか（出版編集委員長）、丹羽美之（選奨事業委員会テレビ部門委員長） 監事＝隈部紀生、鈴木典之

理事＝藤久ミネ（選奨事業委員長）、稗田政憲（選奨事業委員会 CM 部門委員長）、鈴木嘉一（選奨事業委員会報道活動部門委員長）、滝野俊一（マイベスト TV 賞プロジェクトリーダー）、石井 彰、市村 元、入江たのし、碓井広義、小田桐誠、茅原良平、上滝徹也、小林 毅、坂本 衛、桜井聖子、嶋田親一、古川柳子、水島宏明、山田健太、中島好登（事務局長）

## ■目的および事業

広く一般市民を対象として、視聴者と放送局・放送制作者が手を携え、放送に関する公平・中立な批評活動等を行い、豊かで優れた番組の創造および放送文化の振興を図り、市民が正確で信頼できる情報を享受し、市民の生活文化の発展に寄与することを目的とする。

（1）放送に関する書籍や雑誌の出版・編集事業 （2）優れた放送に関する企画や作品の選奨・表彰事業 （3）放送に関するセミナーやイベントの企画・開催事業 （4）放送に関する調査・研究事業 （5）放送に関する団体や機関への提言事業 （6）視聴者、放送関係者との交流事業 （7）放送に関する目的を同じくする国内外の団体等との連携事業 （8）その他、目的を達成するために必要な事業

## ■主な活動

### 放送の専門誌 [GALAC/ぎやらく] の編集・発行

放送批評の育成・振興を目的に、放送や番組の問題を様々な角度から取りあげ、研究するテレビ・ラジオの専門誌。番組批評のパイオニア。1967 年創刊の「放送批評」誌をリニューアルして、97 年 5 月創刊。

### 日本を代表する番組賞 [ギャラクシー賞] の選定・表彰

本会創立と同時に 1963 年に設立された番組賞。審査には本会正会員自身があたり、月間で定例会を持つなど日常性を重んじた丹念な選考作業が特徴。毎年 4 月から翌 3 月が対象。テレビ、ラジオ、CM、報道活動の 4 部門制。それぞれ大賞、優秀賞、選奨、特別賞などを選出。個人賞、DJ パーソナリティ賞は個人に贈られる。

### 視聴者参加型 [ギャラクシー賞マイベスト TV 賞] の運営・表彰

本会が NPO になったのを記念して誕生した、視聴者が視聴者の手でベスト番組を選ぶテレビ番組賞。毎月投票でノミネート番組を選び、年間 1 本のグランプリを選出。

### [放懇シンポジウム／放懇セミナー] の企画・開催

その時々の放送をめぐる関心事をテーマに、当事者、専門家、研究者とともに放送を考える場を提供し、放送界に積極的な提案、提言を行なう。